

# すかい

地域を見つめる経済情報誌

## 長野しんきん 北信地区経済動向

2023  
令和5年  
11-20  
No.615

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

### 月例調査レポート



#### 飯山市 ニホンリス

木の実をせっせと集めては蓄え、豊かな森づくりに貢献することから、世界各国で「貯蓄のシンボル」とされている森の人気者リス。日本でも数多くの金融機関のマスコットキャラクターとなっています。

童謡「ゆりかごのうた」(作詞：北原白秋 作曲：草川信 長野市出身)の3番の歌詞に登場し、綱をやさしく揺らす「木ねずみ」とは栗鼠のこと。この歌は「日本の歌百選」にも選ばれ、今でも子守歌の定番として歌われています。

♪揺籃の綱を 木ねずみが揺するよ ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「ポストコロナの企業経営」② ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (20) 後町周辺 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



# 概況 全産業

## 生産は2カ月ぶりの上昇 前年同月比は3カ月連続の低下

### ◇2023年8月の長野県鉱工業指数

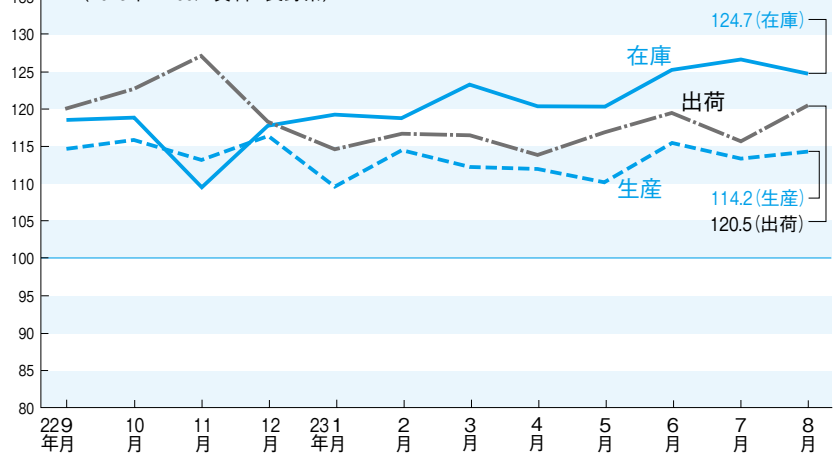
(速報：季節調整済指数)

生産は114.2(前月比+1.0%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は120.5(同+4.2%)で2カ月ぶりの上昇、在庫は124.7(同▲1.4%)で3カ月ぶりの低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は104.7(前年同月比▲6.7%)で3カ月連続の低下、出荷は112.4(同▲5.5%)で8カ月連続の低下、在庫は122.1(同+10.9%)で6カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…食料品、金属製品、電子部品・デバイスなど7業種  
低下…情報通信機械、電気機械、輸送機械など10業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、食料品、電子部品・デバイスなど9業種  
低下…輸送機械、窯業・土石製品、電気機械など8業種
- [在庫] 上昇…その他、金属製品、情報通信機械など7業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、電子部品・デバイスなど9業種

## 月例調査

## 全産業の「売上高」は減少

前回調査 2023年8月

### ◇10月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(31

%)が3割減少、「減少」割合(35%)が6割増加、「不変」割合(34%)は3割減少、全体としては減少の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少  
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	改善	悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	34.1 ↓	31.1 ↓	36.8 ↑	35.2 ↑	182社	81.3%	74.2%	25.8%
製造業	21.2 →	21.2 →	33.3 ↓	45.5 ↑	66社	83.5%	62.1%	37.9%
建設業	32.3 →	32.3 →	37.1 ↓	30.6 ↑	62社	89.9%	82.3%	17.7%
卸小売業	31.0 ↓	31.0 ↓	33.3 →	35.7 ↑	42社	89.4%	83.3%	16.7%
サービス業	33.3 ↓	33.3 ↓	50.0 →	16.7 ↑	6社	75.0%	83.3%	16.7%
輸送業	44.4 ↓	44.4 ↓	22.3 ↑	33.3 ↓	9社	100.0%	22.2%	77.8%
外食業	87.5 ↓	87.5 ↓	12.5 ↑	0.0 →	8社	80.0%	50.0%	50.0%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」食料品・自動車部品が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(21%)が2割減少、「減少」割合(46%)が8割増加、「不変」割合(33%)が6割減少、全体として減少の状況です。

### ●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	23.0	39.3	37.7
	今回	増加 21.2	不変 33.3	減少 45.5
食料品		50.0	21.4	28.6
金属加工	8.3	41.7	50.0	
一般機械	0.0	44.4	55.6	
電気機械	16.7	66.6	16.7	
自動車部品	20.0	60.0	20.0	
精密機械	16.7	16.6	66.7	

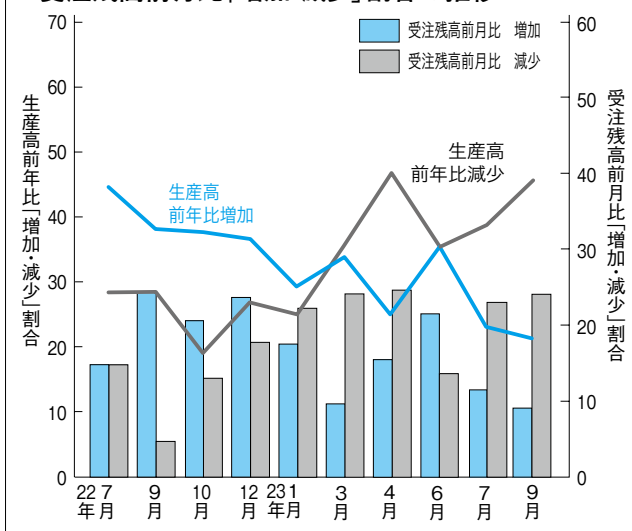
**[業種別]** 増加…食料品・自動車部品  
減少…金属加工・一般機械・電気機械  
精密機械

**[機械稼働]** (前回比)稼働率 上昇  
上昇割合 (13%) → 12%  
下降割合 (25%) → 17%

**[受注状況]** 受注量(前回比) 下降  
増加割合 (12%) → 9%  
減少割合 (23%) → 24%  
受注残高(1.7ヵ月) → 1.7ヵ月

**[受注基調]** (前回比) 上昇  
上昇割合 (10%) → 15%  
下降割合 (28%) → 29%

### ●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%/資料:当金庫)

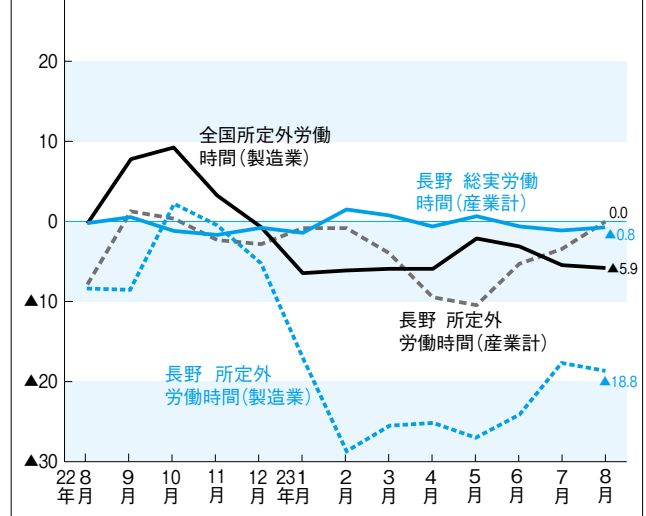


### 企業からのコメント

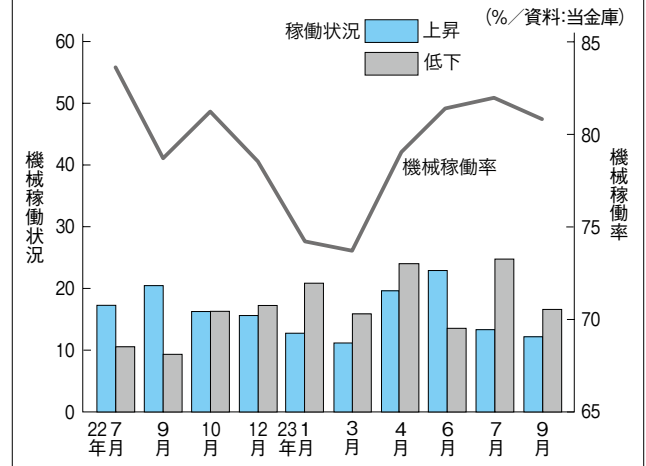
- ☆★原材料・資材等の値上げは一段落してきた。一方で、顕在化してきたのは人件費の上昇と人手不足の問題で、今後は慎重に対処していく。(乾そば)
- ☆今年の夏は暑さが続いたため、乾麺・生麺の売上が好調だった。そば粉も戸隠を訪れるお客様が増えて売上は好調。天気が良かったので、観光地の客足はコロナ前に戻りつつある。(乾麺・生麺製造)
- ★海外(米国・中国)の経済状況は低迷し受注が不安定になっている。また、中国向けの産業用エンジン部品の受注減少が目立っている。(自動車部品)
- ☆★来年度の新札導入で、受注は多少増えているが、思ったほど量産にはいたっていない。(プリント基板)
- ★主力の原材料であるえのき茸は10月から大幅値上げになって、収益の低下につながっている。(なめ茸)

### ●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(%/資料:長野県・厚生労働省)



### ●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%/資料:当金庫)





# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」土木工事が増加するも、全体は減少

### 概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(32%)が1割減少、「減少」割合(31%)が6割増加、「不変」割合(37%)が6割減少、全体としては減少の状況です。

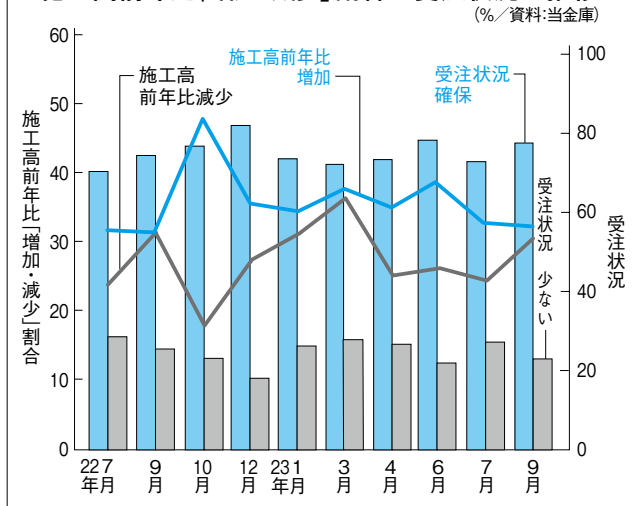
#### ●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	32.8	42.6	24.6
	今回	増加 32.3	不変 37.1	減少 30.6
総合建設業		55.6	33.3	11.1
土木工事業		33.3	33.4	33.3
建築業		18.2	40.9	40.9
各種設備業		27.3	45.4	27.3

〔業種別〕 増加…土木工事  
横ばい…総合建設  
減少…建築・各種設備

〔受注状況〕 受注残高(前回比) 改善  
「多い・適正」割合 (73%) → 77%  
「少ない」割合 (27%) → 23%

#### ●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



### 企業からのコメント

☆★仕事量は全拠点で潤沢な状況である。しかし大型プロジェクト案件が多く、比較的利幅を出せる中小案件が少ない。今後は今まで以上に繁閑の差が大きくなると思う。(内装仕上工事業)

☆★公共工事や民間建築工事の受注によって受注残が増加している。しかし、夏場の施工不足を挽回するまでには至っていない状況。(総合建設業)

### 4～9月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～9月の発注合計は、1,433.3億円(前年同期比+9.8%)となりました。前年比プラスは「県」の436.3億円(同+3.5%)、「その他」の366.3億円(同+55.2%)、マイナスは「国」の221.8億円(▲4.8%)、「市町村」の406.1億円(同▲0.6%)でした。

北信地区市町村の発注合計は161.0億円(同+46.2%)で、うち長野市は75.2億円(同+45.2%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2023年9月/2023年4月～9月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2023年9月	前年同月比	2023年4月～9月	前年同期比
長野県	国	2,809	+13.2%	22,183	▲4.8%
	県	4,413	+49.6%	43,629	+3.5%
	市町村	6,023	▲7.7%	40,614	▲0.6%
	その他	711	▲24.0%	36,628	+55.2%
	合計	13,956	+8.3%	143,330	+9.8%
北信地区	市町村	2,951	+92.1%	16,103	+46.2%
	(内長野市)	1,238	+108.4%	7,523	+45.2%

### 4～9月の新設住宅着工戸数

長野県の4～9月の新設住宅着工戸数は6,020戸(前年同月比▲6.3%)でした。持家が3,356戸(同▲4.3%)、貸家が1,704戸(同▲2.4%)、分譲が900戸(同▲22.5%)、給与が60戸(同+566.7%)です。

北信地区の4～9月の新設住宅着工戸数は1,674戸(同+7.0%)でした。持家が912戸(同+1.1%)、貸家が512戸(同+36.9%)、分譲が247戸(同▲13.9%)、給与が3戸(同+50.0%)です。

#### ●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2023年9月/2023年4月～9月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	9月	120戸	108戸	19戸	0戸	247戸
	(内長野市)	65戸	61戸	10戸	0戸	136戸
	前年同月比	▲5.5%	+33.3%	▲32.1%	-----	+4.7%
	(内長野市)	▲3.0%	▲6.2%	▲47.4%	-----	▲9.9%
	4～9月	912戸	512戸	247戸	3戸	1,674戸
前年同期比	+1.1%	+36.9%	▲13.9%	+50.0%	+7.0%	
長野県	9月	492戸	314戸	109戸	52戸	967戸
	前年同月比	▲5.0%	+2.3%	▲55.9%	+5100.0	▲9.9%
	4～9月	3,356戸	1,704戸	900戸	60戸	6,020戸
前年同期比	▲4.3%	▲2.4%	▲22.5%	+566.7%	▲6.3%	

## 卸小売業

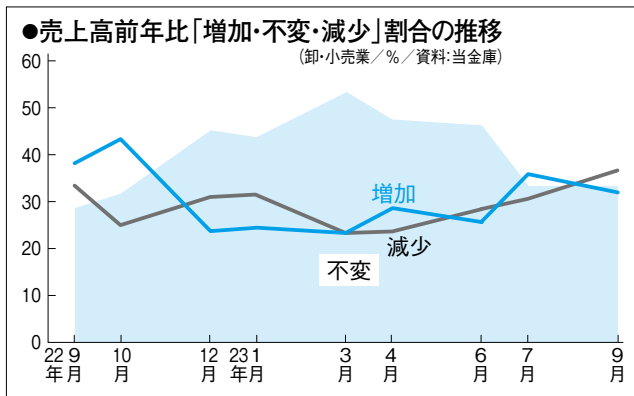
卸売業、小売業

### 「売上高」小売が増加、卸売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(31%)が5%減少、「減少」割合(36%)が5%増加、「不変」割合(33%)が横ばいで、全体として売上は減少の状況です。

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	35.9	33.3	30.8
	今回	増加 31.0	不変 33.3	減少 35.7
卸売業		15.8	42.1	42.1
小売業		43.5	26.1	30.4



【業種別】 増加…小売業 減少…卸売業

9月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……107.4 (25カ月連続プラス)

(前月比▲0.1%、前年同月比+3.1%)

上昇…「家具・家事用品」「食料」「諸雑費」

下落…「教養娯楽」「光熱・水道」「被服及び履物」

「交通・通信」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…107.0 (26カ月連続プラス)

(前月比▲0.3%、前年同月比+2.9%)

#### 企業からのコメント

☆秋口以降に、志賀高原のホテルを利用した学生の合宿や修学旅行がコロナ前の状態に戻りつつあり、受注が増加している。(飲料)

☆天候不順のため苦戦したが、イベント等の再開も増えて売上増加のプラス材料になっている。(タオル等)

☆野菜・果実の動向は良いが、高値で推移している。特に、白菜・トマトは高騰している。高値は11月も続きそうな気配。(青果卸)

☆★新車の納入状況は改善しつつあるが、目立った販売状況の変化はない。(自動車販売・整備)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービス・輸送・外食ともに減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は17%減少の33%、「減少」割合は17%増加の17%、「不変」割合は横ばいの50%と、売上は減少の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は6%減少の44%、「減少」割合は4%減少の33%、「不変」割合は10%増加の22%と、売上は減少の状況。タクシーは横ばい、運輸は減少です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は13%減少の88%、「減少」割合は横ばいの0%、「不変」割合は13%増加の13%と、売上は減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比21%の減少、前年同月比は3%の増加で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は25%増加の50%、「引合いやや増加」は12%減少の13%でした。

#### 企業からのコメント

★求人難で、ドライバーが退職しても補充が出来ない。外注先(備車)も撤退・廃業するところが出ており、2024年問題を前に、輸送業界は懸念が顕在化している。(トラック輸送)

☆「終活」で、土地・建物の売買希望が増えてきており、多忙な状況である。(不動産)

★旅行支援がなくなり集客に苦戦している。団体客の規模の縮小や宿泊期間の短縮も見受けられる。(旅館)

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	50.0	0.0
	今回	増加 33.3	不変 50.0	減少 16.7
輸送業	前回	50.0	12.5	37.5
	今回	44.4	22.3	33.3
うちタクシー業		100.0		8.8
うち運輸業		28.6	28.5	42.9
外食業	前回	100.0		8.8
	今回	87.5		12.5

### 今後の「事業展開」

「本業での取引深耕」66% 「本業での新商品・サービスの展開」39%  
 「新規事業への参入(多角化)」8% 「M&Aの活用」5%  
 「副業(既存の別事業)の拡大」5%

企業アンケート  
 「ポストコロナの  
 企業経営」②  
 2023年9月調査

### 商品・サービス価格の「値上げ状況」

「すでに値上げを実施」37% 「再度の値上げを実施」11% 「値上げを検討中」24%  
 「値上げの予定はない」9% 「値上げをしたいが出来ない」10% 「むしろ値下げを実施」1%

**今後の「事業展開」** 上位5項目は、「本業での取引深耕」66%、「本業での新商品・サービスの展開」39%、「新規事業への参入(多角化)」8%、「M&Aの活用」5%、「副業(既存の別事業)の拡大」5%でした。

**商品・サービス価格の「値上げ状況」** 「すでに値上げを実施」37%と「再度の値上げを実施」11%を合算した「値上げを実施」は49%、「値上げを検討中」24%、「値上げの予定はない」9%、「値上げをしたいが出来ない」10%、「むしろ値下げを実施」1%、「分からない」は4%でした。

業での新商品・サービスの展開(39%)、「新規事業への参入(多角化)」8%、「M&Aの活用」5%、「副業(既存の別事業)の拡大」5%となり、「特になし」は14%でした。

従業員規模で見ると、30人未満の「特になし」(17%)が11割、30人以上より高く、30人以上は「本業での新商品・サービスの展開」(54%)が2割、「新規事業への参入(多角化)」(17%)が1割、「本業での取引深耕」(73%)が1割、それぞれ30人未満より高くなっています。

### ◇4業種の状況

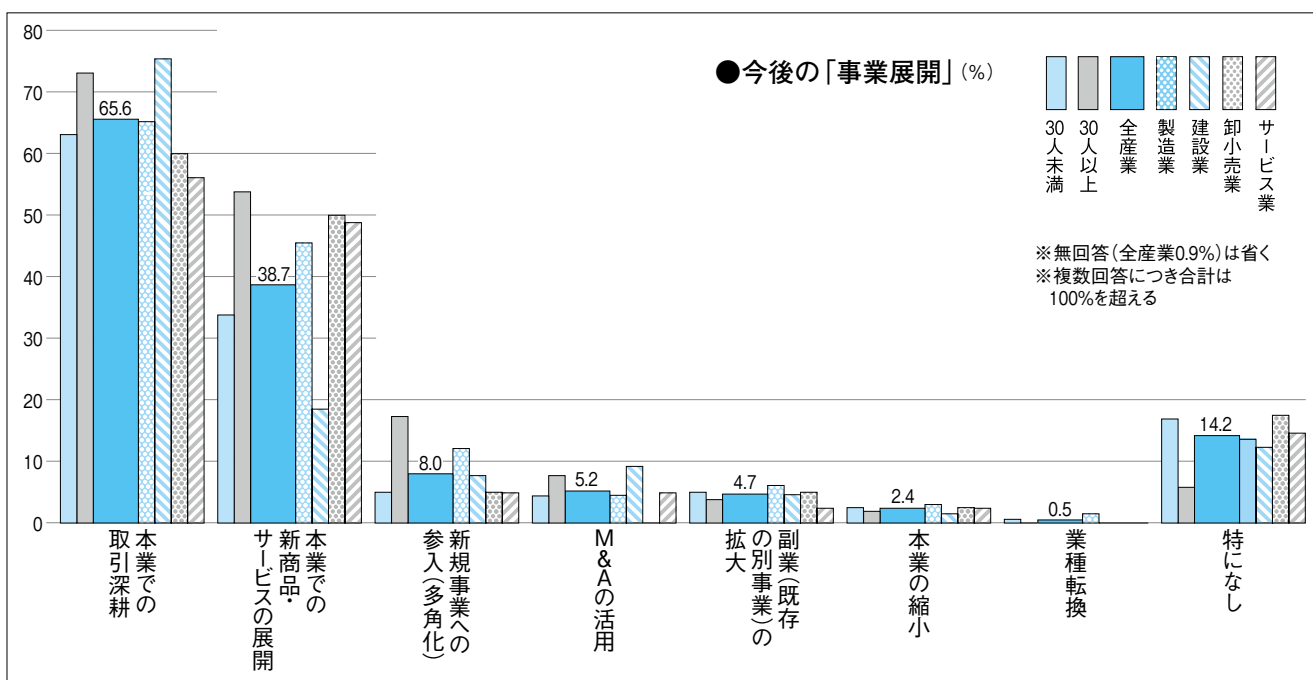
**製造業** 「新規事業への参入(多角化)」(12%)、「副業(既存の別事業)の拡大」(6%)、「本業の縮小」(3%)、「業種転換」(2%)は他業種に比べ最も高くなっています。

**建設業** 「本業での取引深耕」(75%)、「M&Aの活用」(9%)は他業種に比べ最も高く、他方「本業での新商品・サービスの展開」(19%)、「特になし」(12%)、「本業の縮小」(2%)、「業種転換」(卸・小売業、サービス業とともに0%)が他業種に比べ

### 今後の「事業展開」

「本業での取引深耕」66%  
 「本業での新商品・サービスの展開」39%  
 「新規事業への参入(多角化)」8%  
 「M&Aの活用」5%  
 「副業(既存の別事業)の拡大」5%

「今後の事業展開」について聞きました。  
 「本業での取引深耕」(66%)がトップで、以下「本



最も低くなっています。

**卸小売業** 「本業での新商品・サービスの展開」(50%)、「特になし」(18%)は他業種に比べ最も高く、他方「M & Aの活用」(0%)、「新規事業への参入(多角化)」(サービス業とともに5%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「本業での取引深耕」(56%)、「副業(既存の別事業)の拡大」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

商品・サービス価格に関する「値上げの状況」

- 「すでに値上げを実施」37%
- 「再度の値上げを実施」11%
- 「値上げを検討中」24%
- 「値上げの予定はない」9%
- 「値上げをしたいが出来ない」10%
- 「むしろ値下げを実施」1%

原材料・エネルギー価格等が上昇していますが、「商品・サービス価格に関する値上げの状況」を聞きました。

「すでに値上げを実施」(37%)と「再度の値上げを実施」(11%)を合算した「値上げを実施」は49%、「値上げを検討中」(24%)、「値上げの予定はない」(9%)、「値上げをしたいが出来ない」(10%)、「むしろ値下げを実施」(1%)、「その他」(3%)、「分からない」(4%)という結果となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「値上げを検討中」(26%)が11割、「値上げの予定はない」(12%)

が1割、「値上げをしたいが出来ない」(12%)が6割、30人以上より高く、30人以上は「すでに値上げを実施」(54%)が2割、「再度の値上げを実施」(15%)が5割、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

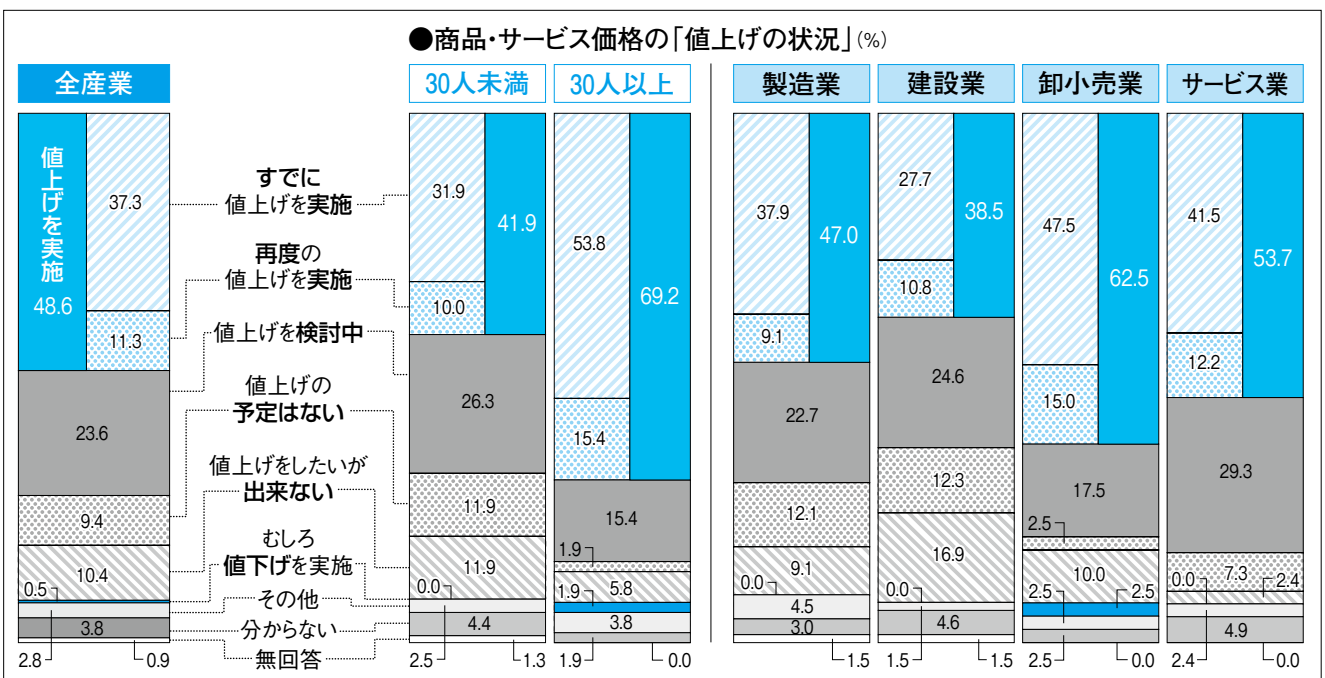
**製造業** 「その他」(5%)は他業種に比べ最も高くなっています。他方「再度の値上げを実施」(9%)、「むしろ値下げを実施」(建設業、サービス業とともに0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**建設業** 「値上げをしたいが出来ない」(17%)、「値上げの予定はない」(12%)、「分からない」(5%)は他業種に比べ最も高く、他方「すでに値上げを実施」(28%)、「その他」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「すでに値上げを実施」(48%)、「再度の値上げを実施」(15%)、「むしろ値下げを実施」(3%)は他業種に比べ最も高く、他方「値上げを検討中」(18%)、「値上げの予定はない」と「分からない」(ともに3%)が他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「値上げを検討中」(29%)、「分からない」(5%)は他業種に比べ最も高く、他方「値上げをしたいが出来ない」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「コスト上昇分を製品・サービス価格に転嫁」と「企業活動における直近の最重要リスク」を予定





# インタビュー 変革期の経営ビジョン



パン・スイーツビジネスを通じて  
人々に笑顔届けたい

 **丸富士**

代表取締役 倉石匡啓さま

## ●創業の経緯をお聞きします…

1957年(昭和32)、私の祖父が長野市で和菓子店向けに、砂糖や水飴などの糖類を販売する丸富士商会を創業したのが始まりです。やがて時代が進み、食文化が多様化する中“パン文化”が興り、当時のパン職人からの要望に応える形で、小麦粉やバター、マーガリンなどの製パン向け商材の扱いを始めました。二代目である父は、祖父からの教えもあり、わざわざベーカリーでの修行を経験してから入社をして、会社を継ぎました。また、その頃から製パン機械の販売も開始し、現在では厨房設計から機械一式の販売まで行っています。

私は、大学を卒業して丸富士に入社しました。入社当初から、将来は会社を継承するつもりで業務にあたっていました。私が28歳のときに父の病気が進行し、業務を行うのが難しくなったため、3代目として引き継ぐことになりました。

祖父・父が築き上げてきた礎を基本に、取り扱う商品の見直しやマーケティングなど枝葉の部分は、時代の流れの中で変化させています。現在、製菓・製パン業界において、弊社のように原材料から機械までトータルで扱っている会社は、全国的にみても10社ほどと少数です。更に自社でテストキッチンを持ち、パン製造のノウハウまで提案できる企業は非常に稀なので、その点は他社と差別化ができております。

当社は創業から66年が経過し、業界の変化に採まれながらも、多くの経験と実績を積ませて

いただき、現在は独立開業から店舗運営までの全てをサポートするトータルカンパニーとして、全国で多くのお客様との取引をさせていただいております。

## ●事業の概要をお聞きします…

当社は卸売業ですが、個人的には物を介したパン屋、洋菓子店をトータルでサポートするサービス業だと考えていますから、お客様に求められることは何でも行うスタンスです。

お客様に商品を届けることが基本ではありますが、機械の不具合に対してのメンテナンスや、新商品のご案内、パン・スイーツの講習会などの情報提案まで実施しています。細部にわたりお客様のお店に寄り添えるところ、また、お店を開店させたいという顧客に、機器や運営に関わるサポートを一から実施出来るのも当社の強みです。最近になって、パンや菓子づくりが好きで、趣味が高じて開業したい方が多くいらっしゃいます。この場合は製造方法のアドバイスをすることもあります。昔と比べると、厨房機械の値段も下がった上、情報も取りやすくなっているので、あらゆる面で開業へのハードルが低くなったとは感じています。

パン業界は、戦後の給食のコッペパン、あんパンなどの時代から始まり、成長してきました。少し前の「高級食パン」がブームの頃は、米とパンの消費量が逆転したとニュースにもなりましたが現在は落ち着いています。パンづくりは種類が多くなると材料の配合や生地作り方も変わりますから、手間がかかる作業になります。

その中で高級食材を利用したり、デニッシュやクロワッサンなどに特化して付加価値を付けた嗜好食よりのお店が増えています。これからも“日本独自”のパン文化が広がっていけばよいと思っています。



●“コロナ禍”の影響についてお聞きします…

パン・洋菓子業界は“テイクアウト”が基本ですから、売上は他の飲食店よりは急激に落ち込むことはありませんでした。ほかに、私が社長になった5年ほど前から卸専用のネットショップを始めていたのですが、コロナ禍のステイホームの影響で急激に伸長しました。その中で、全国のお客様とつながりを持てることは良い方向につながっています。さらに消毒用のアルコールも当初から扱っていましたが、一時は需要に供給が間に合わない状況が続き、売上げがかなり伸びました。以上、コロナ禍は追い風だったと感じています。

●今後の夢や方針をお聞かせください…

本社の2階に「生米粉のパン・スイーツラボ」という工場を建設致しました。今後は、米粉のパンやスイーツを製造してホテルやレストラン



本社社屋



本社2階の「生米粉のパン・スイーツラボ」

に卸していく予定です。このアイデアを思いつき、始めるタイミングを窺<sup>うかが</sup>っていました。弊社は小布施の栗を使用してペーストを作ったりと、以前からオリジナル商品を作り差別化を図っていました。しかし主軸は卸売業で、メーカーから商品を仕入れて販売するのが業務ですから、大きな独自性は出せずにいました。今後は、「製造業にチャレンジするのもおもしろいのかな」と、構想は以前からありました。また、チャレンジすることで会社としてシナジー効果を生んで強くなれるとも思っていました。そんなときに「事業再構築補助金」を申請して採択されたので、具現化することを決めました。

また、地元根差した卸売業として会社の規模を大きくし、地域のお客様や従業員を増やすことにより地域に貢献していけたらと考えています。さらに、製パンや製菓の講習会なども開催し、地域の食文化(菓子文化)をもっと盛り上げていきたいです。

製造業としては、長野県のお米を使用した加工品を作り、長野県の農産物を県外に発信していけば地域的に豊かになれるのではないかと考えています。

●事業の概要

設立 1961(昭和36)年  
資本金 1,000万円  
代表者 倉石匡啓  
従業員 17名(男11名・女6名)  
業務 製パン・製菓 材料卸  
事業所 長野市アークス8-20  
URL <https://maru-fuji.biz/>

●沿革

1957(昭和32)年 創業  
1961(昭和36)年 丸富士商店 設立  
1985(昭和60)年 株式会社丸富士に組織変更  
1994(平成6)年 新潟支店開設  
2005(平成17)年 本社をアークスに移転  
2017(平成29)年 倉石匡啓 代表取締役役に就任  
2018(平成30)年 マルストック開設

# 北信濃 明治時代の風景

## (20) 後町周辺

長野郷土史研究会会長  
小林 一郎



これは明治14年(1881)に出版された「善光寺長野町図」の、後町周辺の部分です。右上が北です。右上(北)から左下(南)に直線の道路が通っていますが、これは旧北国街道で、現在の長野市の中央通りです。中央通りが現在の道幅に拡幅されたのは大正13年(1924)のことで、それ以前は細い道で、少し蛇行した部分もありました。

### 北八幡川

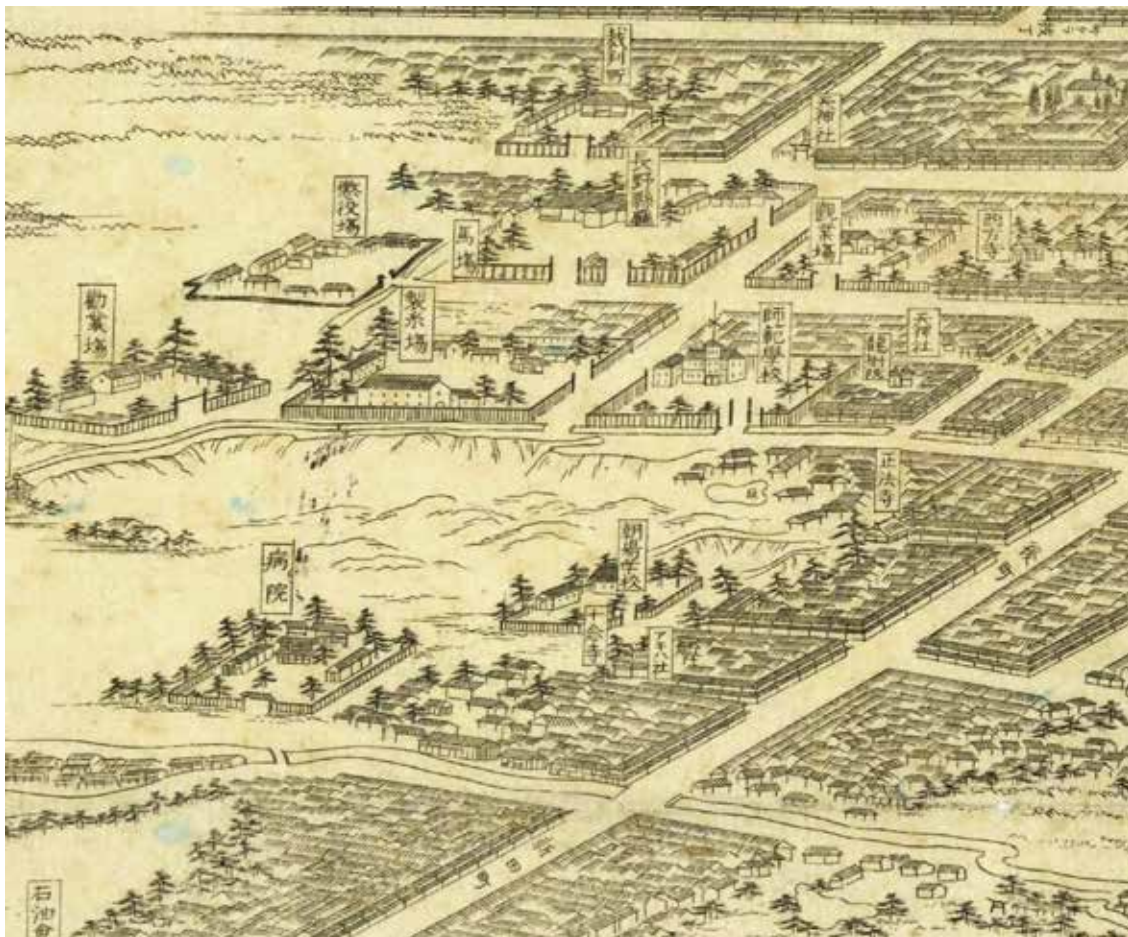
下段の左(西)から右(東)に向かって流れている川は、北八幡川です。八幡川は裾花川から分水した用水で、現在は長野県庁の南側を流れ、信濃毎日新聞社本社ビルの南東で北八幡川と南八幡川に分かれています。400年ほど前まで、裾花川は西から東に向かって流れていました。現在の中央通り付近では、その旧流路の北端を北八幡川が、南端を南八幡川が流れています。

### 鶴ヶ橋

中央通りの北八幡川を渡る橋が鶴ヶ橋で、善光寺七橋の1つに数えられています。明治13年(1880)の記録によれば、長さ1間3尺(2.7m)、幅2間3尺5寸(4.7m)の石橋でした。善光寺に参詣した源頼朝が、ここから鎌倉の鶴岡八幡宮を遥拝したことから、鶴ヶ橋、八幡川という名称が起こったという伝説があります。現在は川が暗渠になっていて、橋の姿を見ることができません。

### 藤の森諏訪神社

図の右下に小さく描かれている鳥居と社殿は、上千歳町の藤の森諏訪神社です。旧問御所村の産土神ですが、現在は上千歳町と問御所町がまっついています。かつては藤の名所として知られ、「藤の森」と呼ばれていました。長野大通りの開通によって、境内の東部が削られてしまいました。



「善光寺長野町図」の後町周辺



## 長野県病院

図の中央左にある「病院」は、位置が不自然ですが現在のJ Aアクティーホールの場所にあった長野県病院です。この病院は明治8年(1875)に大門町の民家を借りて開業し、翌年には西後町の正法寺(現本願寺長野別院)に移転しました。明治11年(1878)には、さらに西町の西方寺に移転しました。そこまでは寺院を借りていたわけですが、明治14年(1881)7月には南長野町高畑に病院を新築して移転しました。この図に描かれているのは、この新築された直後の病院です。

この病院は明治30年(1897)に長野市が発足すると市立病院となりましたが、日露戦争中の明治37年(1904)4月に日本赤十字社に譲渡されて、日本赤十字社長野支部病院となりました。日本で最初の赤十字病院でした。

## 十念寺

「病院」の右に、「十念寺」があります。西後町にある浄土宗の寺院で、中央通りに面した入口には「紫雲山頼朝院十念寺」の石標が建っています。この山号・院号・寺号は、源頼朝が善光寺に参詣した時、紫の雲に乗って阿弥陀如来が出現し、頼朝に十念を授けたという伝承によっています。実際には時宗一向派の寺院として始まったといわれ、墓地には応永15年(1408)の板碑が残っています。

## 秋葉神社

「十念寺」に隣接して「アキハ社」があり、鳥居が描かれています。これは西後町の産土神の秋葉神社です。宝永2年(1705)に勧請され、十念寺の北面堂と呼ばれていました。現在の社殿は、諏訪の名工立川和四郎富昌によって嘉永6年(1853)に再建されたものです。富昌が得意とした粟あわと鶺鴒うずらの彫り物を見ることができます。善光寺七福神の1つです。

## 朝陽学校

「十念寺」の北の「朝陽学校」は、後の後町小学校



奥が本願寺長野別院(旧正法寺)、右は定専寺、左は善立寺

です。明治9年(1876)に長野学校(現城山小学校)から分離してできた小学校で、当初は妻科村と鶴賀村の子どもたちが通いました。校名は西にある旭山に由来するのでしょうか。現在は長野県立大学後町キャンパスとなっています。

## 鍋屋小路と権堂小路


中央通りから「朝陽学校」に突き当たる小路が描かれています。これを鍋屋小路と呼んでいます。小路の途中の南側に、大鈴木家(屋号鍋屋)があるためです。

鍋屋小路の反対側に、中央通りから東に入る小路があります。これは権堂小路で、現在は金刀毘羅通りと呼ばれています。相生町通り(権堂アーケード通り)がまだ中央通りまで通じていなかった明治時代までは、ここが権堂の入口でした。

## 正法寺

やはり小路を入った奥に、「正法寺」が描かれています。これは現在の本願寺長野別院です。現在の長野市若槻地区を本拠としていた若槻氏が、鎌倉時代に善光寺に開いた寺に始まるといいます。江戸時代に西後町の現在地に移り、大正14年(1925)に本願寺別院となりました。

12月号は「旧長野県庁周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい 



◆安心して「子育てできる環境を整備」するために、何が重要か

「仕事と子育てが両立できる環境整備」47%

「妊娠・出産に関する経済的な支援」46% 「保育料・授業料等の無償化」44%

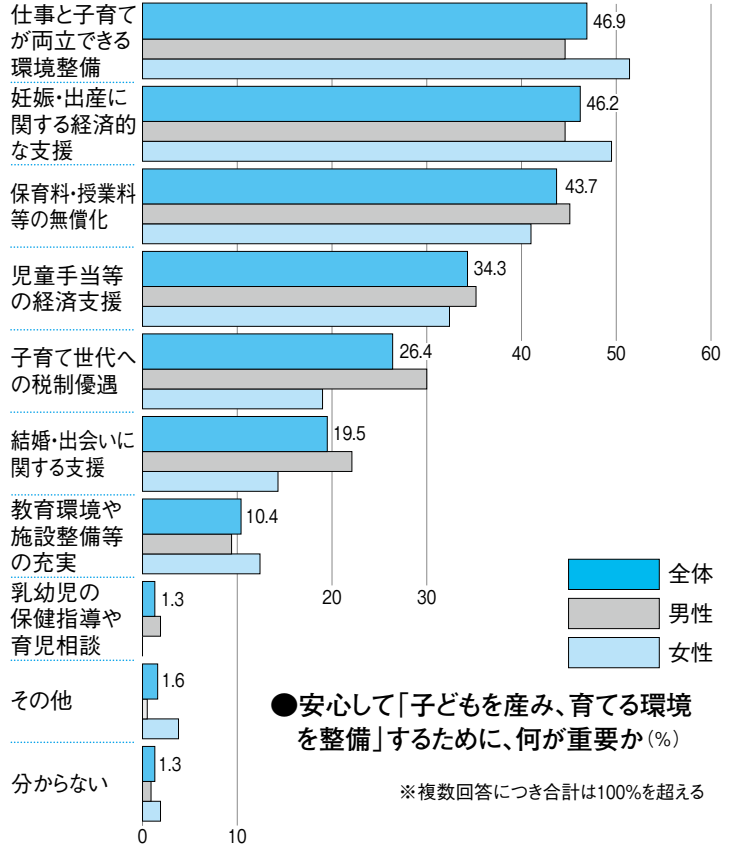
「安心して子どもを産み、育てる環境を整備するために、何が重要か」を聞きました。

全体の上位3項目を見ると、「仕事と子育てが両立できる環境整備」47%、「妊娠・出産に関する経済的な支援」46%、「保育料・授業料等の無償化」44%と、わずか3割差の順位になりました。

男女別でトップを見ると、男性は「保育料・授業料等の無償化」に、女性は「仕事と子育てが両立できる環境整備」になりました。

世代別でトップを見ると、10～20代は「妊娠・出産に関する経済的な支援」、30～40代は「保育料・授業料等の無償化」、50代以上は「仕事と子育てが両立できる環境整備」になりました。

〈当金庫・2023年9月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [12月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
12月4日	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	12月19日	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)
7日	太子町支店 (須坂支店・墨坂支店)	豊野支店	21日	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
8日	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	22日	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
12日	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	25日	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	26日	本 部	
14日	長池支店 (大豆島支店)		27日	本 部	

